

BFSニュースレター

発行者 びとファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2010年6月1日発行

Vol. 13, 第13号

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

株式投資の成果に、差が出る理由

株式投資で成功するために大事なことは、以下のとおりです。

1. 個別銘柄の選択は、業種や国で投資先を分散し、8~10銘柄程度買う。
2. 長期で投資する。
3. いい会社の株を安く買う。

これができれば、株式投資で成功する可能性が高まります。いわば、株式投資成功の3原則です。

ただ、この中身について、詳しくお話することは、別の機会に譲りたいと思います。今回は株式投資に臨む際の心構え、あるいは望ましい投資スタンスというべきものをご紹介します。

少し、下の図を眺めてみてください。

	1年	2年	3年	4年	5年	計
A	600	-800	400	-300	-150	-250
B	50	-100	80	-50	100	80

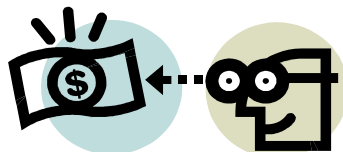
タイプAは、儲かるときは大きい、損をする時も大きい。タイプBは、儲ける時はそれほど大きくなく損をする時も少ない。そして大事なことは、5年経った後のトータルの損益です。タイプAは大きな損失、タイプBはしっかりと利益が出ている。実は、この結果は驚くほどよくあるパターンなのです。なお、両タイプとも元本は1000としておきましょう。この数字の違いは、どうして起きるのでしょうか。

タイプAは、株式の信用取引や外為

証拠金取引などの取引による損益状況と比べてよいでしょう。一方タイプBは、上の株式投資3原則を守った現物株投資です。

	1年	2年	3年	4年	5年	計
C	400	-800	-400	-	-	-800
D	-100	-60	-30	120	90	20

タイプCは、最初の年はたくさん儲かりましたが、次の年は大損、そして次の年も損を出し、結局うんざりしてやめてしまいました。タイプDは3年続けてマイナスを出しましたが、5年後、結局は水面上に浮上しました。この違いも大きいですね。そしてこの結果も、大変よくあることなのです。



タイプA・Cは、短期売買かつレバレッジを効かせる信用取引、外為証拠金取引などによるもの、タイプB・Dは、上の3原則を守って、長期でじっくり構えている投資のやり方です。

ここから導き出されることは、以下の大事な点です。

1. 大局的、長期的に見る。
2. がつつ儲けようとしなない。
3. よくない時に、耐える。

きっと、これができる人にお金はついてくるのでしょうか。

新興国青年層の向上心

この頃よく聞く会話に、「中国青年の仕事やキャリアへの意欲はすさまじい、目の色や行動のスピードがそもそも違う。」というのがあります。

ちなみに、国際的な証券投資のグローバル資格である米国CFA協会認定証券アナリスト資格の2008年のアジア地域の受験者数を見てください。

国	受験者数
中華人民共和国	17123人
香港	12115人
韓国	8092人
シンガポール	8043人
台湾	3357人
日本	2108人

ハーバード大学の学長が、来日してぼやいています。「今年日本からの留学生は、1人だけだった。」中国や韓国の青年は、我も我もと、アメリカに留学しています。この差は、非常に大きいものがあります。

日本の青年が、内向きになっているのは否定できない現象です。これは由々しき問題であって、そもそも、世界のグローバル化の中で、国際競争に勝つための土俵にも上がれないことにもなりかねません。



向上意欲の強い中国や韓国の青年層に伍していくために、日本の青年の奮起を期待したいところです。

今月の言葉:

認識者として目を凝らしすぎるものが、どうしてあらゆること的前景以上を見ることができようか。

-ニーチェ



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒164-0003

東京都中野区東中野4-7-18

岡藤ビル303号

電話 : 03-5338-9733

携帯 : 090-4934-3121

FAX: 03-5338-9734

電子メール : info@bfsc.jp

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを—BFSの大切な役割



今、日本に求められる人間像

アメリカの心理学者マズロー(1908~1970)は、人間性心理学の最も重要な生みの親といわれている人物です。彼の思想を紹介しましょう。

マズロー心理学を貫く基本思想は、個人の尊重、人間愛にあります。2~3歳位までに両親から惜しみなく注がれた愛情は、その後の人格を形作るベースとなる、最も大切なものといえます。

また、マズローの有名な欲求段階説は、次のようなものです。-人間は、生活に困らない、安全に生活できるという比較的低位の欲求から、それらの欲求が満たされれば、どんどん行為の欲求を満たすべく、行動や思考をするようになる。高位の欲求を満足することにより、一層望ましい主観的結果-新の幸福、平静さ、内的生活の豊かさがもたらされる。そして最高位の欲求は、自己実現的欲求であり、自己実現的人間は、利己性が減少し、社会に大いに役に立つ結果をもたらす。

では、どうしたら、自己実現的人間になれるのでしょうか。マズローによれば、幼い頃の両親により注ぎ込まれる愛情が大事とのこと。なぜかという、愛情は基本的な欲求であり、

守られている、大事に思われていることが健全な人間精神の出発点だからということです。そして、次に、自分の境遇に感謝すること、すでに得ている恵みに感謝することが大事だといえます。今の幸せは、当然のものだと思ってしまうのが、普通の人間だが、自己実現的な人間になるためには、充足された欲求に対し大いなる喜びを感じ、心より感謝することが大事だということです。そして、その感謝する気持ちが、次なるエンジンとなり、これから来る苦難を乗り切る原動力になる、と説いています。

知識や真理にいたる道はたくさんあるが、いずれの道をとるにせよ、自己実現的な人間は、その手段や方法によらず、それを実現するべく邁進しそしてそれを実現する可能性が格段に高いとマズローはいいます。

、日本は今、大変むずかしい局面に差し掛かっていることだけは確かです。この局面を打開するために、一人でも多くの自己実現的な人間が求められます。きっと、坂本龍馬は両親、家族から惜しみない愛情を注がれた自己実現的な人間だったことでしょう。